

第31回
白根市美術展覧会

市長賞受賞者

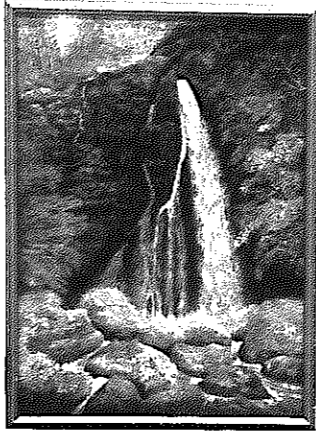
作品紹介

六月四日から六月九日までの六日間、白根学習館で白根市美術展覧会が開催されました。三十一回目を迎える今年も数多くの人が訪れ、美の世界を堪能しました。

ここでは、日本画・洋画・書道・写真・美術工芸の五部門、二百三十一一点の作品の中から、市長賞を受賞した五作品と受賞者をご紹介します。

日本画

納涼



寺澤さんが絵を始めたきっかけは、公民館の日本画講座でした。絵を描くことを心から楽しみ、家族を大切にする寺澤さん。お孫さんの絵もよく描いてプレゼントするそうです。これまでに七五三の時や、鼓笛隊で活躍する姿を描いて送り、「日本一の絵描きさん」と喜ばれたそうです。

この作品は新津の白玉の滝。「特に滝の勢いを出すところが難しかったですが、楽しく描くことができました」と笑顔で話してくれました。



寺澤イチ子さん
(七軒)

洋画

ゆかいな仲間



中山さんとはにかく絵が大好きで、学生のころから多くの絵を描いてきました。しかし数年前に自分の絵に限界を感じ、専門の先生に付きながら、今まで学んできたことに磨きを掛けることに。絵の技法など詳しく学ぶことで、その世界に広がり生まれたそうです。

受賞について「今回の受賞は、長い間絵を描いてきた自分にとってのご褒美ですね」とにっこり。多くの人に絵に挑戦して欲しいと願う中山さんは、今回の受賞で無鑑査となりました。



中山紀子さん
(上塩俵)

書道

夏目



海津椿三さん
(養口)

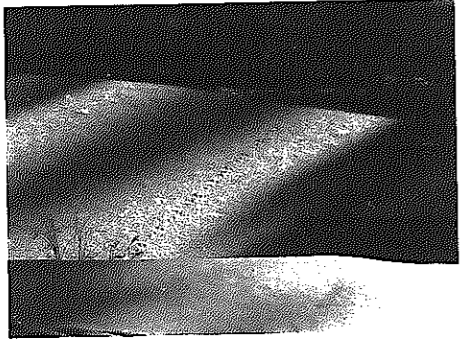
「八十歳までにいっぺんは市長賞もりたい」。あきらめかけていた市長賞を受賞した海津さんは、現在七十九歳です。書道を始めたのは、妻のミトリさんが先にしていたことがきっかけ。負けてなるものかと思いつつも頑張りました。

「もうダメかなという気持ちになつているところに受賞の知らせを聞いたので、本当にうれしいです」と目標達成の喜びは格別。待ちに待ったこの受賞で無鑑査になったこともあり、自らの書道にさらに自信を深めていました。



写真

あしあと



「今年の元旦に山古志村で、新雪の上に動物が歩いたあしあとを撮影した写真です」と作品を紹介してくれた山宮さんは、一昨年の市展でも市長賞を受賞しており、今回の受賞は二回目。しかも市展に出展したのは過去まだ四回だけだそうです。

「なるべく地元新潟の様子を写真に収めたいと思って。地域の発展に貢献できるとうれしいです。どんどん盛り上げていきたいですね。写真でストレス解消もしますよ」と満面の笑みで話す山宮さんでした。



山宮繁雄さん
(水道町2)

美術工芸

鉄釉藤文鉢



阿部貴幸さん
(東町)

「やっと市長賞が取れました」と喜びを話す阿部さん。過去、議長賞、教育長賞と受賞し、今年念願の市長賞受賞となりました。七年ぐらい前に軽い気持ちで始めた焼き物も、今では自宅に窯を構え、作品づくりに没頭してしまつたようです。

焼き物について「自分がイメージしたようにはなかなか焼き上がってくれません。けれども焼き物のそんなところがおもしろいですね」と一言。今回の受賞で無鑑査となりました。